

NotifAcTalk: 生成 AI との音声対話を通じた 先送り行動低減のためのリマインド手法の提案



猪原 大智, 半田 篤史, 川口 一画 (筑波大学 IPLAB)

1-C26

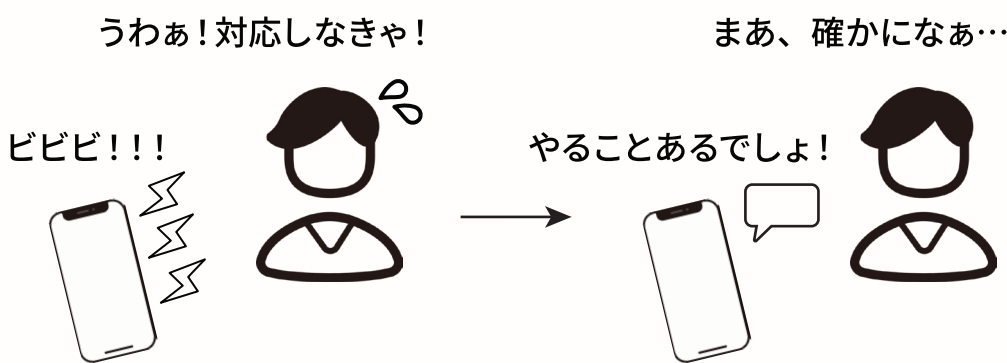
背景

何かをやろうとしても、
つい忘れて先送りにしてしまう。
Google カレンダーなどの通知は
強制力が少なくつい無視してしまい
リマインドの効果が低い。



つくったもの -NotifAcTalk-

行動を起こしやすくするための新しいリマインド手法として
スマホ上での「電話」に着目。
より強制力のある電話着信でユーザの注意を引き、
音声対話によって先送り行動を減らすアプリを作った。

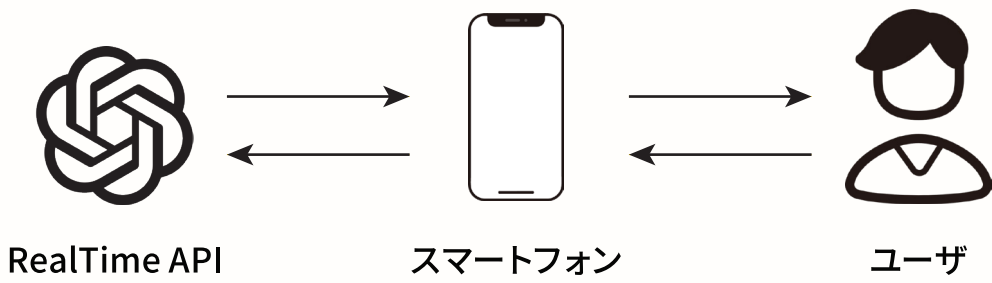


リサーチクエスチョン

- RQ1: 提案手法は既存の通知による介入と比べて
先送り防止にどれほど効果があるか?
- RQ2: 支援の主体が人ではなく AI になることで
相談のしやすさは向上するか?
- RQ3: 電話でのインタラクションにおいて
AI はどのような会話や表現をすべきか?

実装

日常的な先送りに人員を確保することは難しいため、
生成 AI による音声対話機能を活用する。
フロントエンドは iOS アプリとして実装し通話
機能呼び出す API である CallKit と PushKit を用いて
電話の着信と通話内容の管理を行う。
バックエンドでは OpenAI 社が提供する RealTime API を
使用し、WebRTC を介して会話の入出力を行う。



現状と今後

現在はデモの実装を完了し、実験の準備段階にある。
今後は想定ユーザを対象にした予備実験を通じて
システムの反復的な改善を行ったのちに1週間の
ユーザ実験を通じて提案手法の先送り防止効果や
ユーザに与える心理的影響について考察する。



イメージ図

あそびかた

実際に電話がくる!



ロックしてても
電話来ます



送ったプロンプトは
ここで確認



人格・モデル・声は
ここで設定!



ここでタスクを追加



君もこのシステムを使って
研究を加速させよう!!!

